

委員会審査

総務 常任委員会・分科会

職員のコンプライアンス推進 周知徹底をどう図る？

Q 職員倫理条例の改正内容及び職員への周知方法は。

A 職員のコンプライアンスの推進に関する条例に名称を改めるほか、第三者機関であるコンプライアンス審査委員会や内部公益通報の対応などを判断することや、ハラスメントの禁止及び対応方法などについて規定した。会計年度任用職員を含めたすべての職員に対し、ホームページへの掲載をはじめ、庁内通知や動画での研修など、あらゆる機会を通じた周知の徹底を進めていく。

Q 令和7年度に実施予定の参議院議員選挙における期日前投票所に商業施設イズミヤが追加されるが、必要な市費は。また、衆議院議員選挙など、急を要する選挙でもイズミヤに期日前投票所を設置することができのるか。

A 記載台や投票用紙の自動交付機など、国政選挙以外でも使用可能な物品等については市費で対応する。また、急な選挙があった場合でも、期日前投票所を設置できるよう合意を得ている。



職員のコンプライアンスについて見直しを行い、不正・不当な行為を抑止し、より良好な職場環境の構築を図る。

委員会で審査した議案

- 八尾市職員倫理条例等の一部改正の件
 - 八尾市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正の件
- その他議案7件

分科会で審査した議案

- 令和6年度八尾市一般会計第9号補正予算の件（所管分）
 - 令和7年度八尾市一般会計予算の件（所管分）
- その他議案4件

建設産業 常任委員会・分科会

空家等利活用促進補助制度 見直しの内容や事業効果は？

Q 空家等利活用促進補助制度をどのように見直すのか。また、周知や事業効果はどうか。

A 市外だけではなく市内在住の若者子育て世帯に補助対象を広げ、市内中古住宅の購入にあたり、基本額30万円、市外からの転入やその他の要件により最大100万円補助できるよう見直す。移住定住ポータルサイトや協力連携団体のホームページ等で情報発信しながら、空き家対策だけでなく、移住・定住の促進や地域活性化につながる取り組みとして事業を進めていく。

Q 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、下水道管の緊急点検を行った結果はどうか。また、今後どのように下水道施設の維持管理を行っていくのか。

A 点検の結果、緊急で対応が必要な危険箇所は見受けられなかった。今後も、国の動向や最新技術を注視し、ストックマネジメント計画に基づく日々の点検調査を着実に実施し、効率的かつ効果的な維持管理を進め、安全・安心の確保に努める。

ストックマネジメント計画とは

下水道施設全体を対象に、優先順位を設定し、中長期的な維持管理と修繕・改築を計画的かつ効率的に管理する計画のこと。下水道施設の安全・安心の確保などを目標とし、持続可能な下水道施設管理の最適化を目的としている。

委員会で審査した議案

- 八尾市手数料条例の一部改正の件
 - 市営西郡住宅14～18号館建替事業に係る事業契約変更の件
- その他議案5件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市公共下水道事業会計予算の件
 - 令和7年度八尾市一般会計予算の件（所管分）
- その他議案3件

文教 常任委員会・分科会

スクールキッズ・スクエア事業 試行実施する意義は？

Q 中規模の小学校2校で試行実施予定の、放課後の見守り事業であるスクールキッズ・スクエアを行う意義は。

A 保護者の就労等の要件がないため、保護者の就労時間が短く児童保育が利用できない場合や夏休みだけの利用等のニーズに応えられる。また、新たに児童保育以外で放課後に安全に過ごせる居場所ができることで、持続可能な放課後児童の居場所づくり対策となると考える。

Q 公立園及び民間園で試行実施予定のこども誰でも通園制度と、一時預かり保育との違いは何か。

A 保護者の就労等に際しての預かりではなく、子どもの成長の観点から、すべての子どもの育ちを応援し、成育環境を整備することを目的としている。

Q 医療的ケア児の利用も可能か。

A 子どもを安全に受け入れることが重要なため、国の制度設計を確認しながら、施設ごとに可能な対応を個別・柔軟に検討する。



放課後に安全に過ごせる居場所が増えることで、保護者の安心と児童の健やかな育ちにつながる事が期待される。

委員会で審査した議案・請願

- 八尾市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正の件
 - 中学校における「41人以上」の学級の解消を求める請願の件
- その他議案3件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計予算の件（所管分）
- その他議案4件

健康福祉環境 常任委員会・分科会

市立病院の患者無料送迎サービス その内容と今後の展開は？

Q 市立病院の交通便利性の向上として、令和7年度から実施する、患者無料送迎サービスの詳細は。

A 地域の医療機関へのアンケート結果に基づき、山本地域と大正・平野地域を対象とし、山本駅と市立病院を結ぶルート、八尾南駅と戸駅周辺を回り、市立病院と結ぶルートの2コースで実施予定である。また、送迎時間については、受付時間に合わせた運行を予定しているが、最終運行時間や便数については、検討中である。

Q 利用者が市立病院の患者かどうかの確認方法は。

A 診察券や紹介状の確認、また、当日の診療の有無を確認するなど、実施に向けて検討していく。

Q 今後、コースを拡充していく予定はあるのか。

A 3年間の試行実施の中で、さらなる要望や費用対効果等、総合的に判断していく。



患者無料送迎サービスの実施により、市立病院への通院を希望する方が利用しやすい環境となる。

委員会で審査した議案

- 八尾市国民健康保険条例の一部改正の件
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計予算の件（所管分）
- その他議案11件

▶ QRコードから、全ての委員会の映像を見ることができます。

